

新型コロナウイルスの拡大が心配ですね。

2月例会は、まず、廣田さん（愛知県・当事者）の話を聞きました。テーマは「親なき後問題」で、実践している取り組みを報告されました。

次に、石川先生の指導による「対話カフェ」をしました。数人のグループに分かれ、各指導員がみなさんの意見を模造紙に記入し、最後に発表し共有しました。

4月は総会を行います。午前は年間計画を作り、午後から講演会を計画しています。ご参加お願いいたします。

3月例会 交流会

日 時：3月10日(火)13:30～15:30

会 場：南市民健康センター

内 容：相談・交流会

(コロナウイルスの拡大によっては、例会を短時間で閉会とすることがあります。)

4月例会（総会）

日 時：4月22日（水） 10:30～15:00

会 場：南市民健康センター

10:30～12:00 総会（報告と令和2年度計画）

12:00～13:00 昼食（弁当）と交流会

13:00～15:00 講演会と質疑応答

「ぎふかれん」の家族による家族のための電話相談 ☎058-271-8169

火・木曜日 10:00~15:00

困りごと、行事の案内など、お気軽に電話ください。

面談も行っておりますので、事前にご連絡ください。

(服部、筒井は、月・火・木・金曜日 事務局へ行っています。)

岐阜市あけぼの会 連絡先

服部 058-247-6004

熊谷 090-6578-9838

山内 058-246-0409

中村 090-7039-9447

石田 090-6084-2124

筒井 090-2685-0226

「ぎふかれん」(服部・筒井) 058-271-8169

岐阜市楽らくクラブ (当事者会)

3月例会

日 時：3月22日(日) 13:00~15:00 (第4日曜日)

場 所：日光コミュニティセンター

連絡先： 石田 吉保 (090-6084-2124)

山内久美子 (058-246-0409)

2月例会の報告

2月15日(土) 13:30~15:30 30名参加(会員外6名)と支援者6名

メディアコスモス おどるスタジオ

昨年、岐阜県立看護大学の石川先生から「精神障がい者と家族が抱える“親亡き後問題”を研究しています。」対話カフェ“という方法で、共に語り共に考えたい。」と提案がありました。

今回は、“対話カフェ”という方法で「親亡き後」を話し合いました。

- 始めに当事者の廣田さん(愛知県の自助グループたんぽぽ会長)から「親亡き後問題の不安軽減に向けて」を話してもらいました。

私の親亡き後の不安は→・生活収入の確保 ・就労問題 ・葬儀、相続問題
・兄弟関係の継続 ・自立した衣食住の実現

実践している取り組み→・一般就労をめざし、B型作業所でトレーニング

- ・訪問看護を利用し、支援者を入れ、親と話している。
- ・成年後見制度のセミナーなどに参加している。

- “対話カフェ”の説明 (石川先生より)
“対話カフェ”とは「正解」を求めるのではなく、各参加者が対話を通じて「交流」「気づき」を得ることを目的にしている。

- 3つのテーマで“対話カフェ”をする。
数人ずつのグループで話し合う。進行係の指導で、15分話したら、別のテーマのテーブルに移動し、また15分後移動し、計3つのテーマについて話し合った。
最後に、6名の進行係から、話し合われた内容・要点の報告があり、全員で意見の共有をした。アンケートを提出し終了。

出された意見

(ア)「親亡き後」について、事前に当事者、親・家族と話したいこと

親から当事者へ→お金を使いすぎるので、お金の使い方。

- ・閉じこもって外出しない。仕事をする気がない。

- ・ 親任せの状態。

当事者から親へ→話し合いに乗ってこない。

親は自分が元気であることが一番だと思っていて、死後のことを話すとケンカになる。

(イ) 「親亡き後」に向けて、知っておきたい情報・知識

◆当事者が知りたいこと

- ・ 親の介護が心配。
- ・ 自治会・近所と上手く付き合えるか。助けてくれるのか。
- ・ 災害時のサービスの限界。

◆親が知りたいこと

- ・ 今の福祉サービスを続けていけるか。当事者への援助・指導
- ・ 薬をきちんと飲むか。薬を飲む援助・指導
- ・ どのような生活支援があるか。(私設サービス?電話サービス?)

(ウ) 「親亡き後」に向けて、準備していること・準備したいこと

当事者・健康に気を使っている。

- ・ 通院方法、主治医との付き合い方、年金のもらい方、暮らす場所、
仕事・毎日の居場所

親 ・ 支援者をたくさん作っておきたい。

感想

話す内容が、「テーマ」に沿ったものでなく、今の「不安」の話になったグループもありました。しかし、漠然とした「不安」が、だいぶ整理されたと思います。

- ・ 親子で話しにくいことも、第三者を入れると、話しやすい。
- ・ 相談すること・支援を受けることに慣れる。